



芝小だより

第10月号

発行所 港区立芝小学校
〒105-0014
港区芝 2-21-3
[TEL:03-3456-3072](tel:03-3456-3072)
[FAX:03-3456-3071](tel:03-3456-3071)

輝く笑顔

校長 川原 哲郎

9月17日金曜日、大田区の平和の森公園には、子供たちの輝く笑顔があふれていました。

この日は、3、4年生合同の遠足でした。緊急事態宣言下ではありましたが、港区の示す感染症対策を行ったうえで、実施することができました。なかよし班の3、4年生でグループを作り、4年生がリーダーとなり行動しました。心配した天気も、お弁当を食べているときにパラパラと雨に降られてしまいましたが、それ以外は薄日も出て少し暑いくらいでした。午後からは、フィールドアスレチックに行きました。子供たちはグループで行動し、広い敷地内にあるいろいろなアスレチックに挑戦していました。池のエリアでは、水に落ちてしまった子もいましたが、子供たちは、久しぶりの遠足、広いところで思い切り体を動かすことができ、本当に楽しそうでとてもいい笑顔をたくさん見せていました。私も、子供たちの輝く笑顔を見て、とても嬉しくなりました。また、4年生はリーダーとして責任感をもち3年生に声をかけグループをまとめようとしている姿も印象的でした。こうした体験を通して、上級生としての自覚が芽生えてくるのだと思います。

今回の遠足を実施するにあたり重要だったのが、電車に乗るときなどの密を回避するため、少人数のグループで行動することでした。子供たちは、15班に分かれていました。密にならないように、学校を出発する時刻も班ごとに少しずつずらし、電車に乗るときも乗降口や車両を分けたり、乗車する電車を変えたりしました。そのため、1班に1名大人がつくようにする必要があり、地域学校協働本部の呼びかけで保護者ボランティアを募集しました。その結果、多くの方が手を挙げてくださり、計画通りに遠足を実施することができたわけです。

子供たちの笑顔あふれる学校、子供たちがいろいろな体験を通して学び、成長していく学校になるためには、保護者の皆様や地域の皆様の協力が必要不可欠なのだ改めて感じました。学校や家庭、地域が協力・連携して子供たちを育て、子供たちの笑顔を守っていく。現代の学校教育に求められている学校の姿が芝小にはできていることを誇りに思います。

さて、もう10月です。学年のちょうど折り返し地点です。緊急事態宣言が出ていた間、ハイブリッド型授業を行ってきましたが、10月からは原則登校して授業を受ける通常の状態に戻ります。もちろん、感染症対策は今まで通り徹底して行ってまいります。まだ制限はありますが、今回の遠足のように、子供たちの輝く笑顔が学校生活の中でたくさん見られるように、活動を工夫していきたいと思っています。今年度の残り半年で、子供たちが益々成長していく姿を見るのが楽しみです。保護者の皆様、地域の皆様等には、今後も様々な面で御協力をお願いすることがあると思います。どうぞよろしくお願いいたします。

9月1日より、5年2組の担任として着任しました、宇田川 徹教諭ですが、体調不良のため退職することとなりました。

当面の間、算数少人数担当の内田 愛主任教諭と坪井 由賀里副校長が中心となり、学級の方に入ることとなります。また、3年生以上の算数少人数指導については区費会計年度講師の先生を活用し、できる限り習熟度別の指導を実施していけるように考えております。該当学年の保護者の皆様には御心配をおかけしますが、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。